

要 約

m-ニトロアニリンの96時間急性毒性試験をヒメダカ(*Oryzias latipes*)を用いて実施した。

試験は、1試験区10尾を用い、5濃度区[設定濃度：150、107、76.5、54.7及び39.0 mg/L(公比1.4)]及び対照区、暴露期間96時間、水温24±1℃、暴露開始48時間後に試験液の全量を交換する半止水式で行った。また、暴露期間中、緩やかなエアレーションを実施した。

その結果、試験液中の被験物質濃度は、暴露開始時では設定濃度に対して98.6～100%、換水前では98.6～99.6%あった。試験結果は測定濃度の時間加重平均(前述の設定濃度を測定濃度の時間加重平均値表示にした場合、149、106、75.9、54.4及び38.6 mg/L)に基づいて算出した。

その結果、*m*-ニトロアニリンの48時間LC50(半数致死濃度)は142 mg/L、96時間LC50は89.7 mg/Lであった。

96時間における100%死亡最低濃度は149 mg/L、0%死亡最高濃度は54.4 mg/Lであった。また、本試験でのNOEC(最大無影響濃度)は38.6 mg/Lであった。